



# Rotary Club of SUGITO

## 杉戸ロータリークラブ週報

2009～2010年度 RI のテーマ

THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

会長 大作 茂 幹事 篠原達幸

### 第1991回例会(2009年8月18日)

点鐘 大作会長

ロータリーソング「それでこそロータリー」

会長挨拶 大作会長



お盆も過ぎましたが静岡の地震のテレビの放映に墓地の墓石の倒壊の状況が映し出されてい

ました。どこかのお寺のものなのかもしれませんが、新しいものと古いものと混ざって倒れていました。

40歳代の女性が本に押しつぶされて死亡と地震の影響と正式に発表されましたが、墓地もあの林立する墓石では、もし不幸にも地震に遭遇したならば思いますと恐怖を覚えずには居られません。お墓を建立することは先祖に対して感謝と尊敬の念の表しであることはまちがいないのですが、自分だけではなくまわりの安全も考えなくてはならない時代になってしまいました。

これからは町等に働きかけて墓地の安全の何か委員会でもできれば、転ばぬ先の杖になるのでは・・・と思います。

### 幹事報告

篠原幹事

広報部門セミナー開催のご案内

日時 平成21年9月12日(土)13:00～

会場 大宮ラフォーレ清水園

登録料 1人5,000円

(財)米山梅吉記念館創立40周年記念式典のご案内

日時 平成21年9月19日(土)12:40^

場所 米山梅吉記念館

「友」インターネット速報No.393がきております。

ハイライトよねやま114号がきております。

### 委員会報告

#### 管理運営委員会

篠原幹事



8月8日(土)にさいたま共済会館で行われました管理運営部門セミナーに行ってきたので報告を致します。

当日は舟越会員と一緒に参加しましたが、本日は舟越会員が都合が悪いということなので、私が発表いたします。

管理運営部門というとは何か漠然としてよくわからないのですが、ロータリー全体に対して総括的に指導する部門だと言うことで、各委員会の方向性についての意見がいろいろとありました。

最初に大塚ガバナーの挨拶があり、その後北パストガバナー、岩淵パストガバナー、津田パ

例会日： 火曜日 12:30～13:30 例会場： 埼玉りそな銀行杉戸支店 3F

事務所： 杉戸町杉戸 2-12-26 埼玉りそな銀行杉戸支店内

TEL 0480 - 34 - 1716 FAX 0480 - 34 - 1360

ストガバナーなどのお話がありました。まず、RLIロータリーリーダーシップ研究会について北委員長よりお話がありました。今、ロータリーが直面している問題の一つは、熱心な指導者が不十分なことではないでしょうか？決して特定のロータリアンに焦点を合わせているのではなく、幅広いロータリアンにそれは求められているのです。勉強した指導者が率先してクラブに貢献をしてくれればよいのです。とのことでした。

また、ロータリーの友委員の染谷さんの方からもお話がありこれからの活動予定のもの、既に活動の終わったもの、いずれでも構わないので是非投稿をして下さいとのことでした。特に、ロータリー2億ドルのチャレンジ（ポリオ撲滅の為に資金集めに関する活動）や、水に関する活動（世界各地の恵まれない地域の学校に井戸を掘ったり、村に井戸を掘ったり、簡易水道の設備を作った等々）をお願いします。その他に地域の奉仕活動として（清掃活動、バザー、家族も一緒に参加した活動）等も是非紹介して下さいとのことでした。

地区研修リーダーの津田さんからはクラブの活性化の手法として次のようなことを挙げていました。

会長のリーダーシップ如何によるところが大きい。本気で取り組んでいるか？

例会出席率を95%以上に保つ。

親睦に力を入れる。（ロータリーの存立基盤）

会員数を30名以上にする。

意義のある奉仕から感動とクラブ活性化が生まれる。

そして、最後に管理運営部門活動方針として、テーマでもあります「すべてのクラブが活力あるクラブになろう」ということです。「ロータリーの綱領」に沿ったロータリーライフを実践し、CLPを理解して新たな中長期計画に取り組むクラブ運営をして下さいとのことでした。是非RLIロータリーリーダーシップ研究会には大勢の方に参加していただき勉強して下さいとのことでした。

## 卓話

新井会員



### 《教育について》

先日田中さんから連絡があり卓話をやってくれと言われて何を話そうかと考えたのですが、私が聞いてきた良い話を少し話そうと思います。

私は現在の仕事を始めて38年になりますが、今は息子に任せて出来るだけ口を出さないようにと思い、週に3日間ぐらいしか会社には出ておりません。そんなわけで時々勉強会のようなものに参加しておりますが、その中に「教育シンポジウム」というのがありましたので、これについてお話をします。

パネリストとして中田横浜市長（元）上田知事、杉並師範塾長補佐の田口佳史氏、埼玉師範塾塾長の高橋史朗氏などがおりまして、教師養成からはじまる日本の教育再興について話し合うわけでした。その中で私が一番印象に残った言葉は「親が変われば子どもが変わる」との一言でした。子どもの教育は家庭である。そして学校、社会へと繋がっていきませんが、家庭は子どもの芽を育てるところ、学校は花を咲かせるところ、そして社会は庭を育てるところ・・・というように家庭が一番の基本です。しかし、家庭での基本が出来ていない為に、学校での学級崩壊が起きています。席に座ってられない。先生の話に落ち着いて聞くことが出来ない。自分勝手なことをする。勉強についていけない。などいろいろとあるようで親に連絡をすると「うちの子に限ってそんなことはない」というような現状の中で、教師は大変な苦悩をし、挫折をし、辞めていく人も多いわけです。そんな教師たちを応援し教育するための教師塾、師範塾等があり、その中の埼玉師範塾塾長の高橋史朗氏の言葉を抜粋して紹介します。「近代化を理念とする明治の第一の教育改革、民主化を理念とする

戦後の第二の教育改革は、欧米にモデルを求めつつ、過去の歴史、文化、伝統などの「否定による進歩」を目指すことに限界があったといえる。21世紀の第三の教育改革は、欧米にモデルを求めることはできない。21世紀は西洋文明が文明の基礎となる世界観の軌道修正をはかり、日本文化の世界観に近づき始めた歴史的転換期といえる。このような文明論的視点から日本文化の価値を創造的に再発見する必要がある。

日本の教育を変革するためには、「教育界の構造改革」が必要不可欠であり、教育者の「主体変容」すなわち、教師と親の意識改革こそが求められている。その意味で「1人からの教育再興」こそが教育改革の出発点といえる。教師には親に対する指導力が求められており、保育所、幼稚園、学校と親としての学びを深める「親学の拠点」にしていく必要がある。どんなに気高く美しい理念を願っても、その教育理念を体現して率先垂範していく教師のリーダーを育てなければ、教育改革はその改革主体である教師という人の壁にぶつかってしまって挫折せざるをえない。「師範力」とは、師として、範を示すことの出来る人間力、豊かな人間性と高い見識で教え導く力のことを言う。師範力のある人間は、師範力の高い社会人、師範力の高い親、師範力の高い教師を目指すことにより、結果としてあらゆる人間の利益に寄与することができるのである。」とあるように「親学」という言葉が出てきましたが、やはり基本は「親」なのです。これからの子どもたちの健やかな成長のためにも是非「親」は自覚をして欲しいものです。

### 《ちょっと一言》

落合会員

先週に引き続き皆さんに少しでも役に立つ情報をお知らせします。これからの台風シーズン、先日も竜巻で屋根が飛んだところもありましたが、急に屋根を修理してくれと言われてもすぐには出来ません。そんな時に役に立つのが**ブルーシート**です。ホームセンターに行けば安く手に入るので、是非何枚か用意をしておけば、急に屋根が飛ばされても何日間かはしのぐ事が出

来ますのでお勧めです。

### 出席報告

黒岩会員

月日	会員数	出席	欠席	MU	出席率
8/18	25	17	8	5	88%

### スマイル報告

黒岩会員

大作会長・・・セミナー出席者の皆さん、ご苦労様です。

落合会員・・・今日から3日間、春日部税務署が入った。平成14年に入り、6年経過した。皆さんもご注意下さい！

関口会員・・・やっと夏らしくなりました。今日も早退します。

下津谷会員・・・朝夕なんとなく涼しくなりました。

渡辺洋子会員・・・毎日暑い日が続きますがガンバります。

中村会員・・・新井会員卓話ありがとうございました。

田中会員・・・篠原幹事、セミナー報告ありがとうございました。新井会員卓話ありがとうございました。

以下同文・・・篠原幹事・武井会員・庄司会員・金子会員・渡辺孝会員・細井会員・鈴木会員・遠藤会員・新井会員・黒岩会員・

本日投入額	18,000円
累計額	132,500円